

令和2年度導入機器

超深度顕微鏡システム

ライカマイクロシステムズ（株） DVM6

本装置は2020年度公益財団法人JKA補助事業（競輪の補助金）により導入しました。



機器の概要

熱処理や表面処理した製品表面の薄膜等の品質評価を行う他、微小異物の観察や破断面の解析を行う装置です。複数のレンズを用いることで、通常観察から超深度観察まで幅広い視野で観察することが可能です。接眼レンズ部分に画像素子を搭載しているため、観察像を液晶モニタに表示しながら作業ができます。また、通常レンズと超深度レンズをワンアクションで切り換えることができるため、同じ観察位置のまま製品評価を続けることができます。

機器の用途

- ①シャフト部品や歯車部品等の表面状態の観察
- ②めっき（表面処理）部品等の表面膜の観察
- ③めっき部品等の極表面薄膜層および表面硬化層の測定
- ④薄膜層および表面硬化層の観察
- ⑤破断面の観察



ライカマイクロシステムズ（株） DVM6

● 仕様

- (1) 光源・画像素子：LED・CMOS
画素数：1,000万画素
ズーム比：16：1
補正：PlanAPO補正
モニター観察：12~2,350倍
傾斜角度：左右90度

(2) その他機能：

- オートフォーカス機能
- 2D計測・3D計測（長さ・角度・面積等）
- 3D画像のXY貼り合わせ（XYZ合成）

● 問い合わせ

甲府技術支援センター
工業材料科 TEL:055-243-6111

